



9/2

2008北京オリンピック陸上競技メダリスト

朝原宣治さんが「夢を叶える力」を講演

市民文化センターで、市制施行10周年記念事業の一つとして、中学2年生を対象に「夢への挑戦」講演会が開催されました。

市内中学校などから参加した約700人の生徒を前に、陸上競技のオリンピックメダリストの朝原宣治さんが「夢を叶える力」と題した講演を行い、「今やっていることを一生懸命やってほしい」と、伝えました。生徒らは、朝原さんの講演に真剣に耳を傾けていました。



中学生のときの部活動やオリンピックの様子を熱心に話す朝原さん



100万人目の記念パネルを手に笑顔を見せる吉田さん (写真中央)

8/23

開館から6年5カ月

市現代美術館入館者100万人突破

市現代美術館の入館者が100万人を超え、記念セレモニーが行われました。記念すべき100万人目となった吉田千恵さん(宮城県塩釜市・28歳)には、認定証のパネルや美術館のグッズなどが贈られました。

吉田さんは「地元のアーティスト、増田拓史ひろふみさんから美術館の評判を聞いていたので、ぜひとも来たかったです。私が100万人目になるなんて、今日は来てよかったです」と、話しました。

Pick Up

馬の歴史を振り返り、人馬が駒街道を練り歩く 駒の里時代絵巻パレード

十和田市秋まつり中日の9月6日、官庁街通り(通称・駒街道)で、市制施行10周年記念事業の一つ、「駒の里時代絵巻パレード」が行われました。

このイベントは、市が「馬のまち」であることを県内外にPRし、馬とともに開拓されてきた歴史を振り返りながら、市民に開拓精神を郷土の誇りとして実感させることを目的に行われ、馬を主役に、古代から中世、近代、現代への歴史の流れを表現し、市役所から市現代美術館まで、馬20頭がパレードしました。

武者姿や軍馬補充部をイメージした姿などそれぞれの時代に合わせた衣装で人馬が登場すると沿道の観客からは大きな拍手が送られました。

パレード終了後には、日舞洋舞のコラボレーションで、平安時代から鎌倉時代のストーリーを、約60人の踊り手が音楽に合わせて踊りました。

古代のパレードに参加した小田桐琉乃さん(南小・4年)は「小さい頃から馬が好きだったのでエキストラで参加しました。最初は緊張したけど、馬上から見える景色が楽しくて良かったです」と、話しました。



時代をイメージした衣装で登場 (写真: 古代の様子)



沿道からの声援に手を振る出演者



勇ましい武者姿 (中世)



約60人が息の合った演舞を見せ、パレードを盛り上げました